

社協だより

第84号 令和2年3月1日発行

編集・発行



社会福祉法人
名取市社会福祉協議会

名取市増田五丁目13番35号
TEL022-384-6669 FAX022-384-6844
<http://www.natorisyakyo.or.jp/>

令和元年10月17日開催

増田西地区福祉委員会キャップハンディ体験



キャップハンディ体験で“地域歩き” 見慣れた道にも新たな発見が盛りだくさん!

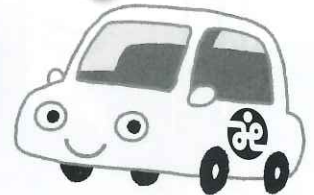
キャップハンディ体験は“ハンディキャップ”の前後を入れ替えた言葉です。障がいのある状態を体験することで、お互いの立場になって考えることを目的としています。

視点を変えると、新たな発見が生まれます。誰もが暮らしやすいまちを目指し、キャップハンディ体験で地域を歩いてみませんか?



下半期の活動を

ご報告します！



中学生のための 仕事博覧会

10月25日、名取市立第二中学校で開催された「中学生のための仕事博覧会」に初めて参加しました。

今回で3年目となる企画で、「仕事から社会の仕組みを学び、働く人から生き方を学ぶ」ことをねらいとしています。

ほつとなとりの訪問入浴サービス、福祉用具レンタル・購入サービスについて、訪問入浴車や介護用ベッドを実際に見てもらいながら、仕事内容や、やりがいについて、説明しました。

福祉や介護の仕事を知っていただき、中学生の皆さんが目指す目標のひとつになれば嬉しく思います。



▲人形を使って、ベッドから浴槽への移動を体験いただきました。



▲介護用電動ベッドに寝て、動き方を体感していただきました。



▲「介護者は頑張りすぎるから、がんばらない時もあるよ。」そんな会話が聞かれました。

がんばりすぎない 介護講座

12月5日と19日、閉上公民館主催の「がんばりすぎない介護講座」に講師として参加しました。

5日はほつとなとりのケアマネジャーが担当する利用者のご家族にご協力いただき、介護の体験談をお話してもらいました。19日は福祉用具専門相談員が歩行器や手すり等、数種類の福祉用具の体験を行いました。

参加者同士が、お互いの介護経験について語り合う機会にもなりました。



仙台空港 バリアフリー体験

1月28日、仙台空港で働く従業員の皆さまを対象にしたバリアフリー体験（国土交通省東北運輸局が主催）に講師として参加しました。

空港のターミナルを使用し、車いす体験と視覚障がい体験を行いました。

普段、利用者の方が通るルートを想定し、体験することで、実際にお手伝いが必要な場面を想像しながら体験いただくことができました。



第四十五回 名取市社会福祉大会を開催しました

とき 令和元年11月29日(金)

ところ 名取市文化会館 中ホール

今年度は、個人45名、1団体が表彰を受けられました。

受賞された皆さま、おめでとうございます。
ございました。

大会名誉会長の名取市山田市長をお迎えして、社会福祉関係者が一堂に会した中、これまで社会福祉の発展に功績のあった個人・団体を表彰し、感謝



◀表彰式典



日本赤十字宮城県支部名取市地区の山田 司郎 地区長からの感謝状贈呈



▲記念公演の講師 東北大学医学部講師 安藤 紀昭氏

の意を表しました。

また、記念講演として、東北大学医学部講師の安藤紀昭氏による「全身と口腔との関連」と題した健康講話を行いました。

安藤先生は、歯科医師としても活躍しており、診療経験をふまえての講話もいただき、出席者からは「舌でわかる全身の病気などを詳しく説明してもらい、大変参考になった。」との感想も寄せられました。

地域支え合い報告会を開催しました

1月17日、名取市文化会館中ホールで、地域支え合い報告会を開催しました。今年で4回目の開催になります。

第一部では、昨年からご協力いただいている東北こども福祉専門学院の大坂純先生より、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるためには何が必要かという内容の講話をいただきました。

第二部では大坂先生と山田市長をコメンテーターとして、3団体の代表の方から、地域活動の取り組みや活動のヒント、地域支え合いへの想いなどを発表いただきました。



▲大坂先生と山田市長の言葉を受け、発表者の方からは「活動を続けていく励みになった。」といった感想をいただきました。

地域支え合い報告会発表者のみなさん

増田地区 増田地区高齢者ふれあいサロン「あがらいん」

清水 かほるさん、村尾 英美子さん
山田 百合さん



活動の概要や、長年継続する秘訣についてお話しいただきました。

増田西地区 なとり子ども食堂

店長 渡辺 好江さん、本同 成行さん



「できる時に、できる人が、できることをやる。」といった、連携についてのお話しもいただきました。

名取が丘地区 笑楽動(わらう)会

半澤 裕子 さん



「ずっとここで暮らしていくために、いい人間関係を築き、長く続けていくために一歩一歩進めていく。」
「助け合う気持ちを持ちながら、ゆっくりやっていく。」大切なポイントを教えていただきました。

令和元年 台風第19号 名取市社協ボランティアセンターを開設 ～ボランティアによる支援活動を行いました～

10月12日から13日にかけて宮城県を通過した台風第19号により、名取市でも愛島地区や本郷地区などで、床上・床下浸水や、敷地内に大量の稲わらが流れ込むなど、大きな被害がありました。

名取市社会福祉協議会では、被害に遭われたお宅の片付け支援を行うため、10月18日に「名取市社協ボランティアセンター」を設置して、災害ボランティアの受け入れを開始しました。

10月末まで7日間の活動を行い、延べ72名のボランティアの皆さんにご協力いただきました。



活動の様子



▲ボランティアの皆さんへの
オリエンテーションの様子。



▲稲わらの除去作業。
稲わらは30cm以上溜まっている
場所もありました。



▲敷地内に流れ着いた資材も連携
プレーで次から次へと運び出し
ました。



▲濡れた家財を運び出します。
力仕事は男性陣にご活躍いただき
ました。



▲泥で汚れた家財をきれいに
洗い流しました。



▲活動後のひととき。
ほっと一息つける時間が力の源
になります。

特に被害の大きかった愛島北目原地区や本郷西六軒、東六軒地区のお宅を職員が訪問し、片付け作業が必要な方に直接声がけを行いました。

一人暮らしや高齢者世帯など、ご家族だけでは片付け作業が困難な世帯を中心に、市内で20件の依頼があり、濡れた家財の運び出しや床上、床下からの泥の除去、敷地内に流れ込んだ稲わらの除去などを行いました。

名取市社協
ボランティアセンターは、
赤い羽根共同募金の助成により
運営しました。





ボランティアには、市内の方はもちろん、市外や県外の方も駆けつけてくださいました。団体ボランティアとして、東北福祉大学やみずほ銀行仙台支店の皆さん、姉妹都市でもある上山市をはじめとした山形県内の社会福祉協議会職員の皆さんのご協力もありました。

依頼者の方から「本当に助けられました。感謝の気持ちでいっぱいです。」という言葉が多くいただきました。ボランティアの皆さんの「私にもできることがあるかもしれない。力になりたい。」という気持ちと懸命に活動される姿が、依頼者の皆さんの再建に向けて大きな力になったことと思います。

依頼者の方やボランティアの皆さんの想いに触れ、人のつながりの大切さや絆の強さを改めて実感する機会となりました。ご協力くださった皆さん、ありがとうございました。



「被災地で何ができないか…」その想いを乗せて、おでつてバスツアーの実施

丸森町での支援活動

11月25日(月)から27日(水)、12月16日(月)、17日(火)の5日間、「おでつてバスツアー」と称し、丸森町に災害ボランティア活動へ行ってきました。

名取市社協ボランティアセンターで災害ボランティア活動をして下さった方々から、「被害にあつた他の市町へもお手伝いに行きたい」との声をたくさん頂戴し、その想いを受けて実現したものです。

▲泥かき作業の様子。みんなの力を合わせると広い敷地も片付いていきます。

▲一般のボランティアさんも交えて昼食休憩の様子。一期一会も大事にしたいものです。

現地に足を運ぶと、その被害の大きさに言葉が出ず、改めて支援の必要性を実感しました。

5日間の活動では、泥や砂で汚れてしまった家財の洗浄や、1メートル近く泥で埋まった側溝の泥出しといった作業を行いました。一つひとつ、皆で力を合わせて活動することの大切さを感じたひと時でした。

～♪♪～あたたかい善意をありがとうございます～♪♪～

社会福祉協議会に寄付をいただいた方々を掲載しました。

善意の気持ちを大切に、みなさまに喜んでいただけるような活用をさせていただきます。

(令和元年9月1日～令和2年1月31日の間)

【現金の寄付】

(単位：円)

月 日	氏 名(敬称略)	金 額
R1. 9. 2	株式会社 夢グループ 代表取締役 石田 重廣 (東京都)	14,176
R1. 9. 4	増田西町内会連合会 (増田西)	14,000
R1.10. 2	京浜精密工業株式会社 (横浜市)	100,000
R1.10.15	みちのくフリーマーケット協会 (増田西)	5,000
R1.10.24	株式会社 たかはし葬儀社 (増田)	16,061
R1.10.30	原 直史 (東京都)	10,000
R1.11. 1	グラウンド・ゴルフ名取市協会 (名取が丘)	1,500
R1.11. 5	那智が丘公民館まつり コーヒーコーナー係 (那智が丘)	12,424
R1.11. 7	名取市地域婦人団体連絡協議会	5,000
R1.11.15	社会福祉法人 広島市社会福祉協議会 (広島市)	100,000
R1.11.21	やすらぎホール美田園 (JA 名取岩沼) (下増田)	23,971
R1.11.28	名取市ボランティア連絡会 名取が丘支部 (名取が丘)	3,000
R1.12. 2	増田グラウンド・ゴルフ愛好会 会長 片山 正巳 (増田)	2,400
R1.12.17	若草会 (名取が丘)	7,293
R1.12.17	名取が丘公民館「健康献立♡体力塾」(名取が丘)	12
R1.12.18	増田婦人会 (増田)	25,400
R1.12.18	館腰公民館講座「見直そう食生活!」(館腰)	3
R1.12.27	有限会社 角栄ホーム リファイン名取 (増田西)	34,310
R2. 1.23	下増田小学校同級会 代表 大友 清一 (下増田)	10,946

※その他匿名の方から寄付 (5件 30,572円) をいただきました。

【物品の寄付】

月 日	氏 名(敬称略)	物 品 名	払 出 先
R1. 9. 4	メガネの相沢名取店 (増田)	老眼鏡クーポン券 20組	市内高齢者
R1. 9.10	阿部けい子 (那智が丘)	雑巾 200枚	名取市社協ボランティアセンター
R1.10. 7	大久あき子 (愛島)	タオル 65枚	名取市社協ボランティアセンター
R1.10.29	阿部けい子 (那智が丘)	雑巾 100枚	名取市社協ボランティアセンター
R1.11. 8	阿部けい子 (那智が丘)	雑巾 100枚	名取市社協ボランティアセンター
R1.11.11	社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会 (豊中市)	雑巾 100枚、土のう袋200袋	名取市社協ボランティアセンター
R1.12. 3	半澤裕子 (名取が丘)	玄米 30kg 1袋	市内施設

※前号に記載漏れがあったため、今号にてご紹介させていただきます。失礼がありましたことをお詫び申し上げます。

匿名の方から物品2件 (おむつ、雑巾、タオル、バスタオル) をいただき、市内高齢者施設等へお届けいたしました。

※その他匿名の方から物品4件(雑巾、タオル、玄米) をいただき、市内福祉施設へお届けいたしました。

令和2年度

ボランティア保険の事前受付

*社会福祉協議会の窓口へ保険料を添えてお申し込みください。保険料は、つり銭のないようご準備ください。ますようご協力をお願いいたします。

*申込用紙は社協事務所に備え付けてあります。(昨年度の用紙は使用できませんのでご注意ください。)

受付開始日 令和2年3月16日(月)

運転ボランティア募集のお知らせ

令和2年4月から活動できる方を募集します。ボランティアの方二人一組でお弁当を届けていただきます。配達先までは社協の公用車を使用し、活動していただきます。1回につき8軒程度の配達です。

活動日 毎週火曜日・木曜日

(どちらも10時30分～12時30分)

応募資格 年齢74歳までの方

*応募は1日体験後でも可能です。

*登録後は研修があります。

問合せ先 名取市社会福祉協議会

配食サービス担当までお気軽にお電話ください。

Tel 022(384) 6669

名取市共同募金委員会からのお知らせ

赤い羽根共同募金をはじめ、たくさんの募金活動へご協力をいただきありがとうございました。
今年度の募金活動についてご報告いたします。

令和元年度 赤い羽根共同募金実績額報告(令和2年1月末現在)

(種類別内訳)

(単位：円)

募金種別	金額
戸別募金	6,648,090
職域募金	196,933
学校募金	99,435
窓口募金等	149,254
合計	7,093,712

戸別募金の地区内訳

(単位：円)

地区	募金額
増田	1,213,390
増田西	1,002,300
名取が丘	546,600
閑上	158,900
下増田	731,300
館腰	821,300
愛島	467,900
高館	549,000
相互台	567,400
ゆりが丘・みどり台	339,500
那智が丘	250,500
合計	6,648,090

今後とも皆さまの
あたたかい
ご支援・ご協力を
よろしくお願いいたします。



宮城県名取北高等学校奉仕活動部の募金活動



街頭募金



義援金の募金



▲すっかり秋の風物詩となった街頭募金の様子。
台風第19号への支援など、関心を寄せてくださる方が多く、活動終了後も募金の申し入れをしてくださる方が多数いらっしゃいました。
開催日…10月20日(日)イオンモール名取にて
募金額…37,714円

▲10月23日(水)～25日(金)にJR名取駅改札前で台風第19号義援金の募金活動が行われました。保護者の方も参加して、長い通路の端から端まで並び呼びかけていました。多くの方が足を止めて募金していただき、16万円を超える募金が宮城県共同募金会へ送金しました。

令和元年度 各種義援金報告(令和2年1月末現在)

○台風第15号千葉県災害義援金

・名取市社会福祉協議会 事務所設置募金箱
3,107円

○令和元年台風第19号災害義援金

(敬称略)
・愛島地区福祉委員会 30,048円
・榊原 孝夫(名取が丘) 10,000円

※皆さまからいただいた義援金は、宮城県共同募金会を通じて各被災地に送られます。

お宝活動

住民の皆さんが行う支え合い活動「お宝」をご紹介します!



お知らせします!



名取手話学習会

毎週水曜日の10時～12時、木曜日の19時～21時、増田公民館で手話の勉強会が行われています。初心者でも楽しめる内容で、クイズやゲームを取り入れながら手話を学んでいきます。手話で会話をしながら、参加者同士で笑い、楽しむ交流の機会にもなっています。参加者からは「手話はイメージやユーモアで作られているので、楽しく覚えられます。」といった声が聞かれました。



和気あいあいとした雰囲気の中行われている活動ですので、ぜひ参加してみてください。手話を覚えて地域で聴覚障がい者の方を見かけたとき、気楽にはなしかけてみませんか?

番外編



なとたん座談会を開催しました!

令和元年11月21日、22日に「なとたん座談会」を開催しました。この会は、地域で支え合い活動を行っている方々が交流し、お互いの活動を知り、現在抱えている課題を共有しながら、相談し合える関係づくりを目的としています。

今回は各地域の拠点を会場に「お茶会サロン」を開催している団体の代表の方に集まっていただき①世代間の交流について②幅広い方への参加呼びかけについて③男性の参加について、という3つのテーマを設け、それぞれが工夫していることなどを話し合っていました。



参加呼びかけについての話題から発展し、「参加したいけれど会場までの移動手段が無い方に、送迎は行っているのか」という質問が出たり、日頃世話役として活動をしている上で気になっていることや、悩んでいることを質問したり相談できる、良い機会になっているようでした。

この会で築いた関係を基に、「お互いのサロンを訪問したい。」という要望も出ました。良い活動は自らのサロンにも取り入れて、より良い運営の参考にしてもらえれば嬉しいです。

認知症サポーターは、

つながりあい、支え合う地域づくりをめざして
認知症の人や家族を支え守る応援者です。

「応援者」が地域にたくさんいることをめざして
養成講座を開催します。

認知症サポーター養成講座を次のとおり開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

- ◆ 日時 令和2年3月19日(木) 10:30～12:00
- ◆ 場所 増田公民館 研修室
- ◆ 対象 名取市民の方で、関心のある方
- ◆ 参加費 無料
- ◆ 内容
 - ・認知症サポーターとは
 - ・認知症の理解と症状や行動心理
 - ・〈寸劇〉認知症の方への関わり方
- ◆ 申込方法 3月18日(水)までにお電話でお申込みください。
- ◆ 電話番号 022-399-8856 (指定居宅介護支援事業所ほっとなとり 専用電話まで)



受講された方には、
認知症サポーターの証
“オレンジリング”
をお渡しします。

みんなと描いていくまち



【お問い合わせ、申込先、ご相談】

社会福祉法人 名取市社会福祉協議会

〒981-1224 名取市増田五丁目13番35号 TEL 022-384-6669

ホームページもご覧下さい。

名取社協

検索